

金城学院大学 生活環境学部 環境デザイン学科

弓立 順子 教授

建築という男性社会の第一線で活躍された弓立先生。
「学生時代に培った基礎が、その後の仕事に生きてくる」と
女性が働きやすい社会へと変わりつつある時代背景に合わせて、
環境デザイン学科のカリキュラム改定に着手していらっしゃいます。
またゼミでは、働く女性の先輩として「どんな困難にも立ち向かえる
折れない強い心を育ててあげたい」と日々指導にあたられています。



基礎をしっかりと学び、強い心を身につけ
これからの社会で活躍できる女性に

弓立順子教授／愛知県立芸術大学卒業後、同大学大学院にて芸術学修士課程修了。日建スペースデザインに在職中、2008年第42回SDA賞地区デザイン賞等を受賞。2012年より現職に就く。日本デザイン学会、日本インテリア学会

大学で建築の世界に出会い 環境デザインの道へ

金城学院で過ごした高校生のころ、広告デザインに興味を持ち、愛知県立芸術大学へ進学しました。当時はバブル期前夜で広告業界も全盛時代です。私は広告代理店でアルバイトをしながら、制作の現場も直に体験していました。そのとき、「グラフィックデザイナーをめざすなら、一度空間デザインも勉強したら」とのアドバイスをもらい、大学で空間デザインの授業を受けることにしたのです。

空間デザインの領域は広く、その奥深さに惹かれ、大学2年生で建築デザインの道を選択。ちょうどロサンゼルスにボナベンチャーホテルが開業したところで、建築業界でもその斬新な建築デザインが話題になっていました。私も「ひと目見てみたい」と、翌年現地へ行きました。全面ミラーガラスで覆われたメタリックな円筒形の外観や、内部空間のダイナミックさに、大きな衝撃を受けたことを今でもはっきり覚えています。

大学院時代に出身校である愛知県立芸術大学で非常勤講師をしていたこともあり、就職はそのまま大学に残る選択肢もありました。しかし実際にデザインや設計する面白さに目覚め、大手組織事務所の一員として、インテリアデザインをはじめたのです。

女性の視点を生かして 生活に密着したデザインを

これまでの建築の世界では、華々しく活躍する建築家やデザイナーの多くは男性でした。私が就職した当時

も建築設計部門への女性進出は稀で、現場のスタッフは、ほぼ全員が男性でした。その中で私は男女を意識せず、自分の仕事を、無我夢中にやってきました。

また働きながら結婚、出産、育児を経験したことから、「生活に密着したデザイン」をできるようになりました。こうした力が身についたのも女性の強みだと実感しています。

多くの人の手助けをいただきながら、設計活動をしてきましたが、2012年より金城学院大学の生活環境学部で教鞭を執っています。工学から学ぶ建築もありますが、ここでは生活者の視点から建築を学びます。デザインにおいて美しさは不可欠ですが、家やオフィスをいかに過ごしやすい環境にするか、店舗であればいかにスタッフの動きやすさを、来店客が感動できる空間を作るか。学生たちにはこうした「生活に必要なデザイン」を、この学科で学んでほしいと思っています。

金城学院大学は高い就職率を誇っていますが、学生たちには「どこでもいいから就職が決まればいい」ではなく、大学で学んだことを糧に、一人の女性として生涯を通してどんな仕事をしていきたいかをじっくり考えて、自分の未来を選んでほしいと思っています。

基礎教育を拡充、学ぶことで 幅広い適応力と個性を育む

昨今は国の施策として、女性が働きやすい社会へと変わりつつあります。それにともない、女性の活躍の場はさらに増えるでしょう。こうした変



学生ファッションショーの準備風景

化に応えられる人材を育成することが我々教員の役目だと思います。

ゼミや実習の授業の中で、どんな局面を迎えても課題を投げ出さず、最後までやり遂げてほしいと、学生たちに伝えていきます。特に4年生は就職活動や卒業制作で大変な時期を迎えます。少しずつでも、ひとつずつ課題を諦めずに取り組みれば、人は必ず大きく成長すると信じています。そうした経験を通して、社会に出ても困難に折れることのない強い心を育てていきたいと思っています。

来年度から環境デザイン学科ではカリキュラムが改定され、基礎教育を拡充し、資格支援をさらに強化します。インテリア・生活環境コースと住宅・都市環境コースは統一され、空間デザインコースとして生まれ変わります。基礎が身につけていけば、デザインに応用の幅が広がります。たとえば服飾デザイナーが文具やインテリアデザインするなど、分野を越えたデザインも可能です。基礎を学び、幅広い視野を持つことで、自分自身を信じる力を身につけます。「自信」という強い心を持って、就職、結婚といった人生の選択の場で自分に一番ふさわしい選択ができる女性になってもらえたらと願っています。

弓立先生はどんな人!?

弓立ゼミ4年生の皆さんに先生の印象を伺いました。「厳しくもあたたかい先生」「ブレない芯があり、とても頼りがいがある」と、筋の通った講義を想像させる声が多く上がりました。就職活動中の学生からは「学生目線に立って一生懸命アドバイスをしてくれる」「親身になって相談に乗ってくれた」など、厚い信頼関係で成り立っている様子が窺えました。

